

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターわかば園		
○保護者評価実施期間		令和7年2月26日	～
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間		令和7年2月26日	～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日		令和7年3月18日	

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者対応を丁寧に行っている。 (保護者を対象としたセミナーを定期的に実施している)	・担任だけで判断せず、児発管等の意見も取り入れたうえでの返事としている。 ・保護者にとって分かりやすいよう具体物を提示したり、イメージしやすいようにしている。	・内容がマンネリ化しないようにする。 ・新たな内容や、保護者のニーズに沿った内容で行うようにする。 ・自ら発信することが難しい保護者への対応
2	・子どもそれぞれに合わせた視覚支援やスケジュール、要求カードを取り入れている。	・常に子どもの発達段階や理解に合わせたものを使用し、提示の仕方等についても子どもに合わせて変えている。	・成功や失敗も含め、事例を職員間で共有しながら、日々努力しより良い支援に繋げる。
3	・立地が良く、広い園庭、ホールがある。	・感覚遊具を組み合わせた運動遊びの実施。 ・季節に合わせ、活動に生かしている。	・老朽化している遊具や設備の整備。 ・より生かすための活動内容の工夫。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・建物や設備の老朽化 (建物等の老朽化で見学に来られた保護者から選ばれにくい)	・老朽化	・可能な範囲での施設整備や新しい物品の購入
2	・活動内容のマンネリ化	・経験年数があるが故のパターン化 (職員は楽しみながら経験のある活動を展開していることは強みではあるが)	・新しい研修に参加したり、情報収集を行い、職員間で共有しながらわかば園らしい活動として取り入れていけると良い
3	・仕事内容が多い	・ＩＴ化が進んでいない	・デジタル化できるものは変えていく ・仕事内容を再確認し、効率化する